

JTA・RAC、2026年度下期路線便数計画を決定

日本トランスオーシャン航空(JTA、本社:那覇市、代表取締役社長:堀尾 裕子)および、琉球エアークommuter(RAC、本社:那覇市、社長:山田 賢哉)は、2026年度の冬期ダイヤ(2026年10月25日~2027年3月27日)における路線便数計画を決定しました。

■国際線

- JTAの那覇=台北(桃園)線を増便し、1日2往復を運航します。

2月よりJTAが就航した那覇=台北(桃園)線は、大変ご好評いただいております。就航以来、毎月利用率が8割を超えています。現在ご好評いただいている朝帯の便に加え、新たに夜帯のダイヤを設定し、1日2往復へと拡充いたします。お仕事終わりのご出発や、朝便・夜便の組み合わせによる現地滞在時間の最大化など、お客さまの多様なライフスタイルに合わせた、より柔軟で充実したご旅行が可能となります。

なお、2026年度下期に先んじて9~10月も連休を中心に一部日程で夜帯便を運航いたします。

<運航スケジュール>(*1)

路線	便名	出発時間 (現地時間)	到着時間 (現地時間)	運航日	販売開始日時
那覇-台北(桃園)	NU301	8:35	9:15	毎日運航中	販売中
台北(桃園)-那覇	NU302	10:15	12:50		
那覇-台北(桃園)	NU307	17:55	18:40	2026年9月24日、25日、27日、28日 10月9日、11日、12日、24日 10月25日~2027年3月27日	8月19日(水) 10時ごろ
台北(桃園)-那覇	NU308	19:40	22:15		

(*1) 出発日により、ダイヤが異なる場合がございます。最新情報は空席照会画面または予約詳細画面にてご確認ください。

■国内線

- 大阪(伊丹)=沖縄(那覇)線を開設し、2往復/日で運航します。

需要の旺盛な大阪(伊丹)=沖縄(那覇)線を増便します。これにより、2007年以来19年ぶりに大阪(伊丹)に乗り入れを再開します。

- 小松=沖縄(那覇)線を2027年2月21日~3月2日にかけて期間増便します。

当該期間において期間増便を設定し、小松、那覇両地区の人流創出を図り「移動を通じた関係・つながり」の拡大に寄与します。

- 日本航空(JAL)と共同引受運航している東京(羽田)発着の沖縄離島路線(宮古線、石垣線)については、引き続き需要動向に応じた運航機材の大型化を実施いたします。

1. 新規路線について

路線	便名	スケジュール(*2)	搭乗期間	機材	販売開始日
大阪(伊丹)-沖縄(那覇)	NU265	伊丹発 14:00 那覇着 16:20	2026年10月25日～ 2027年3月27日	ボーイング 737-800 型機	8月19日(水) 10時ごろ
	NU269	伊丹発 19:40 那覇着 22:00			
沖縄(那覇)-大阪(伊丹)	NU264	那覇発 11:30 伊丹着 13:20			
	NU268	那覇発 17:00 伊丹着 18:50			

(*2)出発日により、ダイヤが異なる場合がございます。最新情報は空席照会画面または予約詳細画面にてご確認ください。

2. 増減便について

路線	便数(往復/日)		期間	備考
	2026年度 夏期(*3)	2026年度 冬期		
大阪(関西)=沖縄(那覇)	3	1	10月25日～3月27日	
小松=沖縄(那覇)	1	1.5	2月20日、3月2日	
		2	2月21日～3月1日	
沖縄(那覇)=久米島	5～7(*4)	6	3月1日～3月27日	

(*3)2026年度夏期の運航便数については、2026年10月の計画運航便数を記載しています。

(*4)曜日運航の便数を含む。

3. 機材大型化について

路線	期間	機材
東京(羽田)=宮古	12月25日～1月3日	ボーイング 767-300 型機
	3月19日～3月27日	ボーイング787-8 型機
東京(羽田)=石垣	12月25日～1月3日、 3月19日～3月27日	ボーイング 767-300 型機

引き続き旺盛な沖縄観光需要に応えるべく、JALグループのリソースを有効活用した沖縄路線のネットワーク拡充を図り、お客さまならびに地域社会の利便性向上に尽力してまいります。

以上